

くれよんだより

暖かく気持ちの良い季節となってきましたね。

いよいよ新年度がはじまり、子どもたちにとってもドキドキの4月！

新しいことにチャレンジしたり、環境が変わる方も多いと思います。

健康にのびのびと過ごし、楽しい素敵な春になりますように…



五種混合ワクチンについて

2024年度から、四種混合ワクチンにインフルエンザ菌 b 型(ヒブ)を加えた五種混合ワクチンを**定期接種**とするという方針が厚生労働省より定められました。乳幼児が対象で、従来のワクチンを使った場合より、接種回数を半分に減らすことができます。



*五種混合ワクチンとは

百日咳・破傷風・ジフテリア・ポリオ・ヒブの 5 つの病気を予防するワクチンで、従来の四種混合ワクチンとヒブワクチンが一緒になったワクチンです。

*いつから定期接種に？

初回接種は、**生後2ヵ月から7ヵ月の間**に開始し、3～8週あけて3回接種。さらに、追加接種として6ヵ月から18ヵ月の間隔をおいて1回接種で、計4回接種になります。

初回接種は、**生後7ヵ月までに開始する必要がある**ので注意が必要です。

※2024年3月までに四種混合ワクチンとヒブワクチンの接種をしている方は残りの回数も同様のワクチンを接種する必要があります。

五種混合ワクチンにすることで、接種回数を減らし乳幼児や保護者の負担を軽減。また、効率的な接種による早期免疫の獲得や接種漏れの回避というメリットがあります。



肺炎球菌ワクチンについて

*肺炎球菌感染症とは

肺炎球菌という細菌によって発生する病気のことです。ほとんどの子どもがこの菌を持っていると言われ、症状がないまま菌を持って生活している子どもも多くいます。肺炎球菌により、小児肺炎球菌性髄膜炎や小児肺炎球菌性菌血症といった重い症状を発症することもあります。予防するためには、この細菌が**子どもの鼻や喉に入ってしまう前に、ワクチンを接種**する必要があります。

従来使用されている13価肺炎球菌結合型ワクチンから、新たに**2種類が追加**になった15価肺炎球菌結合型ワクチンに変更。

これにより…



従来のワクチンではカバーすることができなかった肺炎球菌を予防することが可能に。より多くの肺炎球菌に対して予防効果が期待できる。



初回接種は**2ヶ月**からでき、およそ1ヵ月おきに3回接種します。追加接種は、3回目接種から**60日以上あけた上で、生後12ヵ月を過ぎてから**1回接種します。

生後2ヶ月から**5種混合ワクチンと肺炎球菌ワクチンの同時接種**をおすすめしています。副反応としては、肺炎球菌ワクチンの方がどちらかという熱が出やすい傾向にあります。



新しい保育士が増えました

佐々山です。
よろしく
願います！



お問い合わせはこちらまで
病児保育室くれよん
電話 0893-57-9377
ホームページ
<https://okubo-kc.jp/childcare/>